

## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町 3の26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL <0566>22-2111  
FAX <0566>25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 神野 公 秀  
幹事 鬼頭 一 浩  
会報委員長 池田 直 樹

2020 ~ 2021年度 国際ロータリー ホルガー・クナーク 会長テーマ

Rotary Opens Opportunities ロータリーは機会の扉を開く

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第3113回例会プログラム

[当年度=30回目；当月=5週目]

2021年（令和3年）3月29日(月)

## 1. 例会……………〈司会：プログラム委員会〉

12:00 〈食 事〉

12:28 1. チャイム

12:30 2. 点 鐘……………〈副会長〉

3. 開会宣言

4. ロータリーソング斉唱……………四つのテスト

5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介

6. 副会長挨拶並びに報告

7. 退会会員挨拶……………宮川 正明 会員

8. 幹事報告

9. 出席報告

10. 委員会報告

11. ニコニコボックス報告

12. 次週並びに次々週のプログラムの予告

(4/5) ……花見家族例会

(親睦活動委員会)

8:30~滋賀県彦根

(4/12) ……卓話「テスラについて」

講師 山田 幸敏 様

(紹介者 嶋津 孝久 会員)

## 2. クラブフォーラム……………〈研修情報委員会〉

13:00 卓話「国際ロータリーの変遷と

地区研修実行委員会の活動」

講師 地区研修実行委員会

委員長 古田 嘉且 様

(江南 RC)

(紹介者 出口 達也 会員)

13. 謝 辞

14. 点 鐘……………〈副会長〉

15. 閉会宣言

13:30 16. 散 会

## 出席

会員総数 97名 出席免除 24名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 91名  
欠 席 4名 出席率 95.60%  
前々回(3/8)の修正出席率 100%

## 副会長報告

- 3月14日(日)に地区大会に参加して参りました。新会員の皆さん含め、41名のご参加ありがとうございました。
- 3月25日(木)多治見カントリークラブにて、知立RCとの合同親睦ゴルフが開催されました。刈谷クラブのゴルフ例会は、GROSS97、HDGP27.6、NET69.4で伊藤節夫会員が優勝されました。なお、総合優勝は加藤英樹会員でした。
- 3月27日(土)刈谷市総合文化センターで開催された、若い演奏家を支援するコンサートに参加して参りました。



- 国際ロータリー財団より、マルチプル・ポールハリス・フェロー3回の認証ピンバッジが盛田豊一会員、加藤真治会員に、2回が杉浦世志朗会員、奥野櫻子会員、神野公秀会員に、1回が近藤純子会員、石川友美会員に届きました。



## 幹事報告

- 1) 永利謙介会員が退会されましたので、現在の会員数は97名となります。
- 2) 2021-22年度のロータリー手帳の注文について、名簿をまわしますので、要、不要の記入をお願いします。
- 3) 本日例会終了後に、特別会議室にて、第10回理事会を開催します。関係の会員はご出席をお願い致します。

## 委員会報告

### ●親睦活動委員会

- 1) 4月5日の例会は花見家族例会となります。登録をされた会員のご参加をよろしくお願い致します。

## 副会長あいさつ

### 下谷 敏朗



副会長として3回目のあいさつをさせていただきます。

前回、木造でも高層ビルが建てられ、二酸化炭素の排出量も抑えられ地球温暖化の防止にもつながるとお話ししましたが、今回はそのところをもう少し掘り下げ木材の良さを

話したいと思います。

まず森林は育成→伐採→植林→育成という循環したシステムで管理されており、これは温暖化対策の上で大きく評価されています。そこに木材の消費利用というサイクルも加わります。自然材料である木材を使う木の家ではその調達から加工、組み立て、使用、維持管理、解体、リサイクル、エネルギー利用、廃棄までの全工程の中で最もエネルギー消費や自然環境への負荷が少ないことが評価されています。

又健全な森林でないと洪水緩和、土砂の崩壊防止などの機能が発揮できません。そのためには人工林を植林して山を守っていかなければいけません。

二つ目は、木材を利用することが地球温暖化防止に役立つということです。伐採された木材は住宅や家具などに姿を変えても炭素をストックし続けています。地球温暖化の元凶となる炭素が製品になっても大気中に放出されないことが他の資材と比較して、際立った特性だということです。日本は京都議定書で原因となる二酸化炭

(2)

素などの排出量を6%削減することを約束していますが、そのうち3.8%を国内の森林の吸収量でカウントするとしています。森林には二酸化炭素を吸収して蓄える働きをしています。ですから定期的な伐採と植林、育成が不可欠となります。また伐採された木材をこのように段階を経て使用していくことも大切です。

資材の製造過程における炭素排出量は木造住宅が鉄骨鉄筋コンクリート住宅の3分の1、鉄筋コンクリート住宅の5分の2です。一方で住宅1戸の炭素ストック量は木造住宅が鉄骨鉄筋コンクリート住宅の12倍、鉄筋コンクリート住宅の8倍もありこのデータからも木造住宅は最も環境にやさしい住宅ということです。

三つ目は、木材を使った住宅は健康的な空間を創造します。まず松の土台、柱などで作った家は松の香りがします。松の香りはダニを寄せ付けません。松チップを圧縮成型して作った松畳を用いた実験で抑制効果があることが判明しています。またマウスを使った実験で木造ゲージで25日経過しても生存率は90%近く維持していますが、金属製のゲージでは9日目に50%に落ち最終的には40%になりました。コンクリート製のゲージではより生存率がより低くなっています。これらのデータ実験などから日本の住宅が古来から木造が主流となっている理由は森林に恵まれた国土とその木材利用が健康の秘訣になっているように思われます。

最後に11月から弊社が建てた住宅で先週引き渡した新築住宅を観ていただきながら木造住宅の良さを感じていただければとおもいます。まず土台、柱はオール松、壁天井はクロス仕上げですが1部杉の羽目板を使用、床は洗面所、トイレはクッションフロアで四畳半の畳の部屋以外は無垢の栗のフローリング、赤松のフローリングで張り込みました。栗のフローリングはアンティーク調のあえて凹凸のあるフローリングで素足で歩いても肌触りがとてもリラックスできる心地よさがあります。また木のカウンターをキッチンとトイレに取付けました。あえて反りや傷、節がある桜、タモの無垢板を使用し手触りを愉しめるようにしました。最後にガレージの扉は水に強く腐りにくい青森ヒバの無垢の扉を作成して吊り込みました。

ということで木材をふんだんに使うことにより健康快適な生活、また健全な森林を維持していくためにも木造の住宅は地球温暖化防止に一役買っていると思います。

## 退会会員あいさつ



宮川 正明 会員

## 卓 話

### 「国際ロータリーの変遷と 地区研修実行委員会の活動」

講師 地区研修実行委員会  
委員長 古田 嘉且 様 (江南 RC)



ロータリーは、自由主義経済が過熱し、過当競争や誇大広告、不正が横行する20世紀初頭の米国シカゴで、商道德の欠如する風潮に耐えかねた青年弁護士ポール・ハリスが、友人3人と語らって、お互いに信頼できる公正な取引をし、仕事上の付き合い

がそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やそうと、1905年2月23日に始めた運動です。

会員間の相互扶助による利益と社交クラブとしての親睦に加え、地域社会に対する貢献、公共の奉仕への方向性の追加で、ロータリーは世界中に発展していきました。

その後、職業奉仕を中心として成長したロータリーですが、組織の巨大化に伴い、民族、国民性、宗教、言語等個人による温度差、東西の温度差、貧富の格差社会からくる南北の温度差、社会的ニーズの変貌等、多数の要因により多様性を持つようになりました。特に21世紀に入って、国際ロータリーは大きく変わろうとしています。国際ロータリーは、組織の管理と運営に新しい要素を導入し、2000年から始まったDLP及びCLPの導入から始まり、戦略計画に3つの優先項目を設けました。

さらに、2016年の規定審議会において、柔軟性の導入として、①例会と出席、及び②会員身分が取り上げられ、2019年規定審議会では、さらなる柔軟性の拡大が提案され、①クラブの職業分類の制限を廃止、②欠席のメイクアップ期間が年度内に拡大、③ローターアクトクラブのRI加盟などが採択されています。

このような変化を十分に理解する必要があります。

ところで近年、ロータリーが本来持っていた魅力や力が失われつつあると言われています。しかし、クラブ運営の基本原則はクラブの自治権にあります。定款に違反しない限り、クラブ細則はそれぞれのクラブの実情に合わせて定められるべきであり、柔軟性を持ったクラブ運営がなされることが大切です。

私たちのクラブの存在価値は何か。クラブとはどういうサービスで社会貢献しようとしているのか。の問いに対する答えを、クラブ全体で追及することが重要になってきます。

今一度、入会した当時の気持ちを思い出して頂いて、ロータリーを考えるきっかけになれば幸いです。

## 第10回理事会

- I 会長挨拶 <会長>
- II 議 題
  - 1. 4・5月のプログラム(案)について <クラブ奉仕委員長>

<プログラム委員長>

- 2. 職業表彰について <職業奉仕委員長>
- 3. 国際奉仕事業について <国際奉仕委員長>
- 4. 社会奉仕事業について <幹事>
- 5. その他

### III 会場監督の所見

## 3月度刈谷 RC ゴルフ例会

令和3年3月25日(木)

於：多治見カントリークラブ

| 成績  | 氏名    | G   | H    | N    |
|-----|-------|-----|------|------|
| 優勝  | 伊藤 節夫 | 97  | 27.6 | 69.4 |
| 2位  | 神谷 龍司 | 99  | 32.0 | 67.0 |
| 3位  | 石川 泰隆 | 88  | 18.0 | 70.0 |
| B B | 鈴木 豊  | 125 | 30.0 | 95.0 |

